十和田風力開発株式会社がお届けする

風のおたより

2025年6月 Vol.2

今回の内容

①テーマの関係者による座談会 …… P.2,3
「【地球温暖化】による環境の変化
～再生可能エネルギーを考える～」

②座談会に関する参考情報 …… P.4

③(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業概要 …… P.4

ごあいさつ

(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業の事業計画範囲である十和田市の皆さまへ向けて、「風のおたより」をお届けいたします。

本おたよりでは、地球温暖化や再生可能エネルギー、(仮称)惣辺奥瀬風力発電事業の背景について取り上げるほか、これまで寄せられた懸念やご質問に対する事業者の取り組みや方針についてもお伝えしてまいります。座談会では、各号のテーマに関係する方をお招きし、テーマに即した情報をお届けいたします。

なお、現在検討中の事業計画につきましては、今後実施予定の第4回中間報告会(時期未定)にて詳しくご報告させていただきます。また、本おたよりの内容に関するご感想やご意見は、裏面に記載の弊社HP内にある「お問い合わせフォーム」へお寄せいただけますと幸いです。

いただいたご意見は、次回以降のおたよりや今後の報告会の参考とさせていただきます。

テーマの関係者による座談会

【地球温暖化】による環境の変化
～再生可能エネルギーを考える～

今回参加いただいた方々

- **中野渡　直樹**さん
  （株式会社SP鋼建　代表取締役）
- **滝内　絵梨**さん
  （会社員）
- **福田　拓帆**さん
  （「酔い処」てまり　店長）

座談会の様子

※司会は十和田風力開発株式会社にて実施

司会　本日は「【地球温暖化】による環境の変化～再生可能エネルギーを考える～」というテーマで座談会を行います。前回は、地球温暖化の産業への影響を出席者にお聞きしました。その中で「地球温暖化を防止するためには、再生可能エネルギーの活用を進めるべき」というご意見がありました。

本日は、再生可能エネルギーおよび弊社が計画している（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業について、どのような印象を抱いているかを、みなさんにお聞きいたします。

まず、地球温暖化の影響を生活の中で感じることはありますか？

猛暑の影響は様々なところに

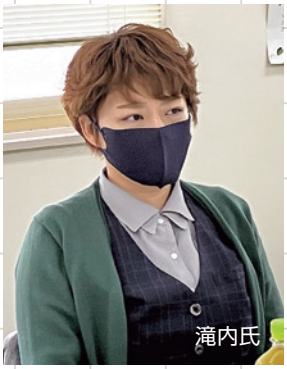
滝内　通常であれば、お盆を過ぎれば涼しくなるという印象ですが、最近は9月を過ぎても暑いですね。

中野渡　確かに、季節が1，2か月ずれてきている印象があります。

福田氏

福田　飲食店をやっていますが、野菜の価格（特にキャベツやニラ）が段々と高くなってきて厳しいです。魚も、旬のものなのに脂がのっていないことがあります。

司会　みなさんの会社で感じることはありますか。


滝内氏

滝内　現場は山が多く、涼しいという印象ですが、ここ数年はファンベストをつけて作業している状況です。

中野渡　青森県は雪国で、どうしても冬季は作業能率が下がる傾向にあります。雪が降ると、雪を片付けてから作業となり、終了時には現場にブルーシートをかぶせてから帰るという一連の作業があります。近年は、夏季も冬季同様に作業能率が下がっている印象があります。暑いことによって、水分補給・汗をぬぐう・休憩するということが必要になり、10年ほど前と比べて作業時間が2~3割減っていると思います。

司会　政府は地球温暖化の対策として、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「カーボンニュートラル」を、2020年10月に宣言しました。エネルギー分野では、“再生可能エネルギーの導入を最大限に図る”とされており、第7次エネルギー基本計画（2025年2月）では、2040年度に発電量における再生可能エネルギーの割合を4~5割に増やす目標が示されています。

再生可能エネルギーへの期待

司会　そのような背景の中で、再生可能エネルギーの導入についてどう思いますか。
一同　よく分からないです。
滝内　なぜ再生可能エネルギーは必要なのでしょうか。
司会　現状、日本の電源構成（2022年度）は化石火力が73%、原子力が6%、再生可能エネルギーが21.7%※1となっています。化石火力というのは、石炭・石油・LNG（液化天然ガス）で構成されており、それらは海外から輸入しています。日本は、エネルギー源を他国に頼っているため、エネルギー自給率が極めて低い状況にあります。エネルギー自給率が低いことのリスクとして、価格や資源の確保が不安定であり、自立した電源を作るという面でも再生可能エネルギーは期待されています。
滝内　再生可能エネルギーにはどういう種類がありますか。
事業者　種類としては主に5つあります。①太陽光②風力③水力④バイオマス⑤地熱※2です。

（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業を知る

司会　十和田風力開発では、十和田市の惣辺地域内にて（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業を計画しております。
　まずは、事業経緯や計画概要をお話しください。
事業者　2018年より、惣辺放牧場およびその周辺で進めている本計画は、2024年2月（第3回中間報告会時点）において、4,200kW級の風力発電機を33基設置する予定となっています。現在、青森県の共生条例などを考慮し、計画の多角的な検討を行っております。
　本事業は「周辺環境と調和し、地域と共存した計画づくり」を目指しており、地域の皆様に事業の進捗をお伝えし、計画についてご意見を伺うため、これまでに3回の報告会を実施しました。
司会　惣辺放牧場は、皆さんご存じですか？
滝内　全く知りませんでした。
一同　（同感の発言あり）
福田　周囲の人も知らない人が多いと思います。
司会　改めて、惣辺放牧場周辺についてもう少しお聞かせください。
事業者　大沼平という所の先に惣辺という地域があります。数十年前から市営の放牧場があり、5月から10月まで牛を放牧しています。近くにはキャンプ場もあり、以前は市民も足を運びましたが、熊が出ることや現地までの道路が狭く危険であることから、今はあまり利用されていない状況です。
司会　事業者として、報告会を3回行っているとのことですが、どのような意見がありましたか。
事業者　主な意見としては景観や生態系への影響、周辺河川の水質汚染への懸念です。これらの意見に対しては報告会で説明を行い、HPでも詳細をご確認いただけます。一方で、賛成の声としては、気候変動問題やエネルギー安全保障の重要性が挙げられました。また、畜産関係者からは放牧頭数の減少による産業維持への懸念があり、本事業による畜産振興への期待も寄せられています。

司会　賛否両論、様々な意見があると思いました。ご意見に対する事業者の対応や地域との共生への取り組みは、今後本おたよりでも取り上げていく予定です。参加者の皆さんは本事業をご存じでしょうか？
一同　知らなかったです。文化センターで説明会を開催していることも知りませんでした。

参加してもらう工夫が必要

司会　事業者はどのように報告会の周知を行ったのでしょうか。
事業者　報告会は「広報とわだ」および十和田市HPへの掲載、新聞の折り込みチラシ、弊社のHPでお知らせしました。
滝内　広報は気になるところしか見ないので、キャラクターなどを（企業で）活用し、目に留まる工夫があればいいと思います。
　また、子供が体験できるイベントも同時にあれば、親世代も参加すると思います。
中野渡　クイズを設定するなど、何か工夫して参加してもらい、事業を知ってもらうのが良いと思います。

中野渡氏

司会　本日は貴重なお話ありがとうございました。これまでは事業を知らない方にお話を聞く機会がなかったので、市民の皆さんがどのような印象をお持ちかを知ることができ、参考になりました。いただいた意見を踏まえ、今後行う予定の報告会等に活かしたいと思います。

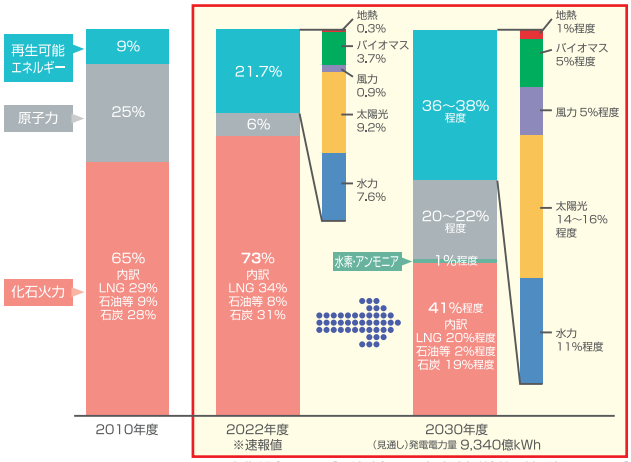
※1・2については裏面の参考情報をご参照ください

《 参考情報 》

※1 日本の電源構成について

2022年度の日本の電源構成では、化石火力が全体の73%を占めています。

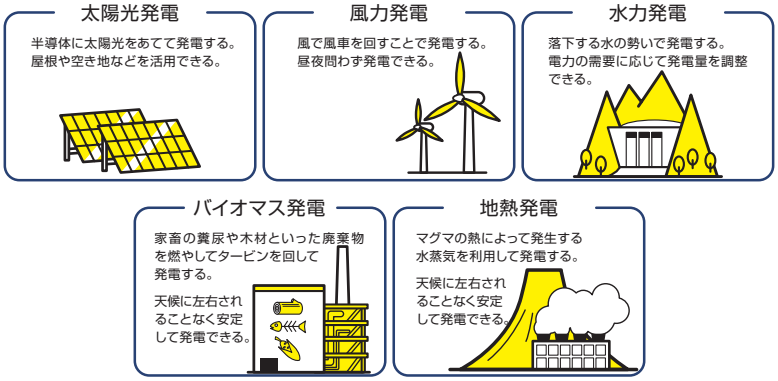
カーボンニュートラルの実現を目指すため、再生可能エネルギーの比率は2022年度には21.7%でしたが、2030年度には36~38%、2040年度には40~50%に引きあげることが目標とされています。（第7次エネルギー基本計画より）



出典:総合エネルギー統計（2020年度速報値）糖を基に資源エネルギー庁作成

※2 再生可能エネルギーの種類と特徴

再生可能エネルギーのメリットとして、「エネルギー資源が枯渇しない」「発電時に温室効果ガスを排出しない」（いずれも木質バイオマスを除く）ことが挙げられます。自立したエネルギーの供給、地球温暖化防止という面でも導入が期待されています。



（仮称）惣辺奥瀬風力発電事業概要

①計画概要

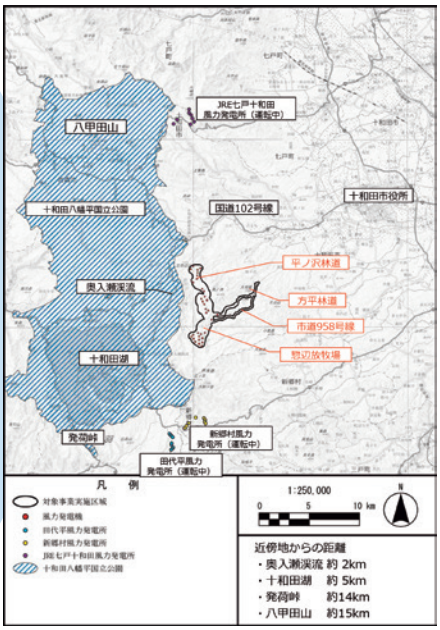
風力発電所総出力：最大 130,200kW
風力発電機出力　：4,200kW
設置予定基数　　：33 基

②事業経緯

2018年：計画開始（事前調査および風況調査準備）
2019年：風況観測開始（風況観測塔設置）
2020年：配慮書発行（環境影響評価法に基づく）
2021年：方法書発行･住民説明会実施（環境影響評価法に基づく）
2022年：第1回中間報告会を開催･現況調査（動植物･景観等）実施
2023年：第2回中間報告会を開催
　　現況調査を踏まえ周辺環境への影響を予測評価
2024年：第3回中間報告会を開催･風況観測完了

**※第3回中間報告会（2024.2）時点の計画です。
現在、県共生条例等を踏まえて事業計画を多角的（周辺環境への配慮等）に検討しております。**

位置図



：：：　発行者　：：：

十和田風力開発株式会社
〒034-0012 青森県十和田市東一番町4-37
TEL 0176-58-0090
HP（お問い合わせ先）:https://towadawindpower.jp/

※ご意見や感想につきましては、
HPのお問い合わせまでお願いいたします。
なお、お問い合わせフォームへの
正確な情報にご協力願います。